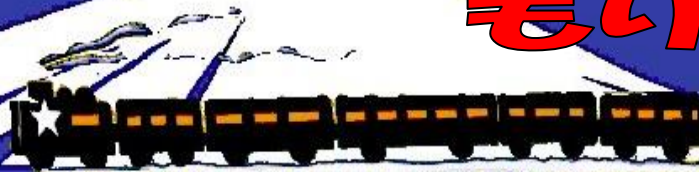




The Y's MEN's CLUB of

もりおか



<VOL114.2017.6>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長 Joan Wilson  
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao  
東日本区理事 利根川 恵子  
北東部長 長岡 正彦  
もりおかクラブ会長 井上 修三

「私たちの未来は、今日より始まる」  
「ワイズ運動を尊重しよう」  
「明日に向かって、今日動こう」  
「明日のために、いま土台を築こう」  
「2017チャリティラン in 盛岡を成功させよう」

今月の聖句 ヨシュア記1章5節

「あなたの行く手に立ちはだかる者はないであろう。わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。」

会長 井上 修三  
副会長 三田 庸平  
書記 濱塚 有史  
会計 大関 靖二  
担当主事 小川 嘉文  
メネット 井上 優子

7月定例会のご案内

日時 平成29年7月8日(第2土曜日) 18時30分  
場所 きのえね本店 会費2,000円  
キックオフ例会です。魚住 英昭様 入会式。  
第二例会 7月14日(金) 18時30分  
場所 きのえね本店

井上会長巻頭挨拶



井上会長

2016~2017年度を振り返る月並みですが、「評価」の月にあたり、矢のごとく過ぎた12ヶ月を振り返り新年度につなげたいと思います。①「強調月間」は全く頭にはいっていなかったのでは?「その通り」次年度はワイズの原点に立ち返り「強調月間」を意識した例会作りに心を砕きます。②当クラブ最年少のワイズメンが次期会長を務めることをふまえ、しっかり導きをします。③財政難の現状から会員増強には引き続き取り組みを継続 以上が次年度の目標。

さて、本年度の「2017チャリティーラン in 盛岡を成功させよう!」は目前に…。結果をお楽しみに。

ワイズメンバー、YMCAのスタッフをはじめ、ユースリーダー、ゲストの皆様ご多忙のなか例会、各行事へのご参加、ご協力ありがとうございました。逆境にあってももりおかクラブは前進あるのみ。

6月第一例会の報告

平成29年6月10日(金) きのえね本店で開催。出席者:大関、長岡、井上、井上優子、濱塚、古澤、小川、三田(敬称略)ゲスト、魚住 英昭様(盛岡YMCA理事長)、村田 里文様(元MOA美術館勤務)、東森 聡(盛岡YMCA前潟センター、センター長)、小野寺 保乃香様(チーズリーダー)、伊藤 陸様(ショッカーリーダー) 昆 由梨絵様(ゆりぼーリーダー)以上14名の参加で開催されました。

嬉しいニュースがあります。盛岡YMCAの理事長、魚住さんが入会を表明されました。来月、新年度のキックオフで入会式です。さらに村田さんも9月に入会するとのお話を頂きました。もりおかクラブは新メンバーを加えて、どんどん発展していきます。ありがとうございます。

そして今夜、東日本区大会でのYIA最優秀を受賞したことにより、もりおかワイズメンズクラブより、盛岡YMCAのリーダー代表のチーズへ感謝状を贈りました。もりおかクラブと盛岡YMCA、リーダー達との良好な関係が東日本区で認められたという事です。過去のどんな表彰よりもすばらしく、嬉しいものでした。ありがとうございます。それにしても、もりおかクラブのみなさん、リ

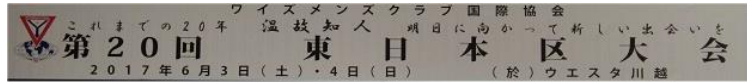


リーダーの名前と顔を覚えなさいいけませんよ。お年だから3回まで確認OKですが、4回目に会ったらリーダー名で呼びかけられるよう頑張りましょうね。女子リーダーの中で一番女の子している、ゆりぼーが6月30日の誕生日という事で、

もりおかクラブよりチーズへ感謝状  
全員でバッピーバースデーを送り例会は終わりました。



今年度締めくくりの例会集合写真。



## 第20回東日本区大会に参加して

大関靖二メン



2017年6月3日、4日 関東東部、川越クラブのホストで第20回東日本区大会が開催され参加してきました。会場はウエスタ川越、参加者418名でした。

もりおかクラブがホストクラブとして開催したのが第16回大会でしたのでそれから4年が経過しています。つい最近の

懇親会より、楽しそう～ ような気もしますし、もう随分たつたなという感じもします。クラブからは、長岡北東部長、井上会長、山口メン、古澤メン、井上メネット、大関の6名参加です。

6月3日の午前1時、盛岡を出発し川越の会場には9時の到着でした。長岡メンと井上メンは年次代議委員会に、井上メネットはメネットアワーに出席し1年間の活動状況を確認してきました。



井上会長入場

開会しました、オープニングセレモニーです。川越の郷土舞からのスタートでした。続いてバナーセレモニーです。北海道部に続き、2番目の北東部は長岡北東部長を先頭に堂々の入場でした。やはり、部としてのバナーがないのは寂しい感じがします。来年度は立派なバナーを作って参加しましょう。舞台が広く、幅に余裕があるため大変豪華に見えました。

開会式では、開会宣言、開会点鐘、利根川理事の挨拶、大会実行委員長の歓迎の言葉、来賓の祝辞と続きます。川越市長の挨拶では、市として観光に大変力を入れていて年間700万人の観光客が来るそうです。

20周年記念プログラムの紹介がありました。10周年の歩み、活動を振り返っての報告をスクリーンにて紹介してくれましたが、もりおかクラブの10周年と同じ歩みでしたので懐かしさもありました。又、第11回大会の越智理事から第20回大会の利根川理事までの理事が一同舞台上がり紹介されました。とても良い企画でした。

続いて、東日本区アワー①です。理事年次報告、部長報告と続きました。各部長報告はスクリーンに各クラブの活動状況が

写し出され説明されていたので大変わかりやすく伝わってきました。その後、東日本大震災の報告が石巻広域クラブの清水メンよりあり6分間の映画でしたが、被害の状況から復興の状態が写し出されており、力強い復興状況が見られました。こ津波の写真を見るたびに涙が出てくるのは私だけでしょうか。続いて、熊本地震支援報告が西日本区岩本理事よりあり、こちらも映画にまとめて状況がよくわかりました。両災害とも皆様の支援協力に感謝しつつ、これからも情報を発信していくのでこの災害を風化させる事無く、引き続き支援をお願いしますとのお話でした。

続いて、記念講演です。ワイズメンだけでなく一般公開で行われました。講師はいすみ鉄道(株)の鳥塚亮社長で題目は「ローカル線を救うおもてなし～危機を乗り越え、地域を元気にする方法～」でした。第三セクターは地域の方全員で守っている、地域の人が作ったものである。経営を続けていくためには効果が出ない事を繰り返し行うのではなく、やり方、発想を変えて行う。地域の子供たちが音楽会、演劇会等、知恵を出してお客さんを呼んでくれる。鉄道会社から迷惑がられている「トリテツ」(鉄道写真愛好家)の人が来ても積極的に受け入れる。この人たちが地域の紹介をしてくれる事が SNS で全国に広がり多くの人が来てくれ、地域の経済発展に繋がる。等々面白く有意義なお話を聞かせてもらいました。

お楽しみの晩餐会が始まりました。1テーブル12名前後という事で、どんな形式かなと思いましたが、丸テーブルではなく長テーブルでした。6名ずつ向かい合っの食事は講習会か勉強会のように不思議な感じでした。料理は取りにくいので慣れている丸テーブルの方がよかったかなと思います。料理が潤沢に供給されてくるのは、大変良かったと思います。

6月4日は早朝散歩、聖日礼拝と進み、東日本区アワー②の始まりです。事業主任報告、メネット委員長の報告と進み、各種



盛岡YMCAとの良好な関係の賜物

表彰式が行われました。もりおかクラブの受賞を発表します。地域奉仕事業達成賞、CS、ASF、FF。国際交流事業達成賞、BF、TOF、RBM、YES、以上により、グラントラム賞受賞。会員増強事業、努力賞EMC-M(2名獲得)。そしてユース事業、YIA最



表彰状に貼られているワッペン  
表を受け取りました。素晴らしい光景でした。引き続き理事

優秀賞(盛岡YMCAとのユースを通じた協働の強化が図られ、継続的なユースの社会参加)これは嬉しいですね。リーダー達との良好な関係が表彰されました。井上会長が舞台

に上がり、利根川理事より表彰

役員引継ぎ式が行われ、次期理事の栗本治郎メン(富士山部熱海クラブ)の所信表明がありました。特にEMCに全力を傾けた旨のお話がありました。閉会式では、大会旗が川越クラブから沼津クラブ(富士山部)に引き継がれました。YMCAの歌を歌い、閉会点鐘となりました。最後に車を提供して下さった長岡メン、途中運転を代行してくれた、山口メン、古澤メン、井上会長の皆様に感謝申し上げます。無事に東日本区大会に出席できた事にも感謝いたします。

# 「ズリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

6月の出席率	7/12	58 %	ゲスト 6 名	ビジター 3 名	メネット 1 名			
メーキャップ	0	名		6月切手	90	g	累計	128 g
6月のにこにこ	9,000	円	累計 11,000 円	6月プルタブ	0	g	累計	4,670 g
6月 石鹸	0	円	累計 563 円	りんご	3,000	円	累計	円
6月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	0	円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

6月のハッピーパースディ 古澤 久美メネット 6/9 誕生日おめでとうございます。

## 二足のわらじのワイズメンそしてもう1足。

長岡 正彦メン

昨年9月、仙台YMCAのチャリティランに学習のため参加してから、盛岡YMCAのチャリティラン企画がスタートしました。事務局長は伊藤真太郎君。長岡は、競技運営を視察して、タイムの測定や記録の入力、順位付け方などを見学していました。そして、2017年、いよいよ第一回目の盛岡YMCAチャリティランが開催されようとしています。準備は順調に進んでいるように



岩手県立大学外周を回るチャリティランマップ

も見えますが、盛岡という閉鎖的な土地柄や応援はするけど、具体的には何もしないという気質に阻まれていませう。協賛会社の不足、出場人数の少なさなどが実行委員長始め、委員会のメンバーの不安材料になっています。これが生みの苦しみというものでしょうか。伊藤真太郎くんは苦悩していると思います。楽観はできないものの、まだ時間はあります。粘り強くできることはすべてやるのです。当日になってみないと天気だけは努力のしようがありませんが、長岡が携わった行事で雨の確率は非常に低いので、こちらは心配ないと思います。成功に向け

て頑張ろうぜ。同時期にスタートした、盛岡YMCAユース委員会も別途活動を続けています。こちらの事務局長は小川君。学校内でいじめにあつて居場所が見つからない中高生に目を向けて、非行や最悪の自殺などを防止したいという願いからスタートしました。一団体の努力などは力及ばない事などは承知の上です。しかし活動を始めなければ、何も得るものはないと、メンバーは自分たちに言い聞かせて活動をはじめました。7月の13日から15日は内丸教会でのお泊り会、7月28日から30日までは焼け走りです。何とか企画も決まり、あとは参加者を募集して実施に移すところまでできました。

どちらの企画にも、もりおかワイズメンズクラブが深く関わっております。ダブって参加しているのは長岡だけでしょうか？チャリティランは競技委員長、ユース委員会は委員長をやっております。どちらも会議を重ねてきました。昼にユース委員会、夜にチャリティラン委員会と1日に会議が重なる日もありました。こうなると、現役の仕事が邪魔になります。でももうすぐリタイアです。YMCAと関わる時間が多く持てます。なんかわくわくしますね。盛岡YMCAの外商部を立ち上げ。資金作りには精を出そうと思っております。リーダーたちの研修会参加費用や、ユース委員会の活動費などを捻出していきます。秋以降の長岡にご期待ください。少し心配なのは、座骨神経痛と高血圧です。三田メン(えだまめ)に「長岡さん、しっかりしてください、お願いしますよっ。」と薬をもらうときに注意されました。病院の処方箋を三田メンの薬局で薬をもらっています。みなさんも薬は天神町薬局でもらいましょう。ん？ なんの締めだ。

## 日本には、放射線中和の技術がある？

福島第一原子力発電所の事故から6年以経過して、未だ、なお避難生活を続けている被災者が多いのですが、東京電力は原子力発電所の廃炉に向け日々頑張ってくれているとは思いますが、日本の科学者たちは核分裂で出る放射線を放射する金属を別の物質に変換して無害なものにするという夢のような技術を持っているようです。また、ロシアの科学者も、同じような技術を発見しているようです。これが本当の話ならなぜ、大きく話題にならないのでしょうか？技術的な問題がまだあるか、それともまったく別の問題があり止められているのか、私はよくわかりません

## 盛岡さんさ踊りが始まるよ。

6月も終わり、7月を迎えようといえます。さんさ踊りの練習が始まりました。8月の1、2、3、4日の本番に向けて各団体は本格的な活動を開始しています。ミスさんさの5人も決まり、三石神社への奉納さんさも行われました。会場は盛岡市中央通り、4日間300を超える団体が踊りのパレードをおこないます。中でも期待しているのは、盛岡大学、県立大学、岩手大学の3団体。毎年最優秀賞を狙って、し烈なパフォーマンスを繰り広げます。学生たちは「これが青春だ。」とばかりに日々練習に取り組んでいる特集のテレビ取材がありました。若い力は無限の可能性を感じます、頑張れ～、盛岡っ子。また、盛岡各地域に伝わる、伝統さんさ踊り。リズムも踊りもまったく違うさんさ踊りを見せてくれ

が日本の科学者の技術開発に期待したいです。

今回たどり着いたのは、「オオマサガス」でした、詳しい話は一切省略しますが、ネットで「酸水素ガス」「オオマサガス」などで検索してみてください。福島を復興させるためには放射能をいつまでも放出し続ける金属をなんとかしなければなりません。そこには実験できる対象の放射能汚染水が大量にあるのですから、無害化実験を行って、技術の確立を期待しています。技術の革新は、反対勢力によっていつの時代も迫害されるものなのでしょうか。偶然発見されるものはそこには必ずなにかあると信じています。スタップ細胞の発見もありましたよね。

ます。パレードには向かないので中央通りでは見られませんが、盛岡駅前滝の広場でこの4日間、日中から踊りを見せてくれます。どうぞお出かけください。短い盛岡の夏を思いっきり楽しみましょう。先月長野の小林さんとテレビ岩手に訪問した時、対応してくれたのが大友遥さん、彼女は3年前のミスさんさでした。



ミスさんさ2017、美しい。



三石神社奉納さんさ

## 恥ずかしながら、長岡家の周りをご紹介

6月の盛岡探索が間に合いませんでした。苦肉の策です。長岡家の植物たちをご紹介します。何回もお伝えしてきた栗の木ですが、なんと花が咲いています。ほんの一部ですが花が咲きました。復活への序章です。のっぼのバラですが、あまり背高なので先を切りました。そうすると幹から新芽がぐんぐんでてきました。3年前に買ってきてプランターに植えていたイチゴがどんどん増えて来て、軒下を占領して野生化しました。ちっちゃい実を付けています。食べてみましたが、甘酸っぱい味です。桑の実よりはおいしかったです。空梅雨の影響でしょうか、紫陽花が遅れています。やっと咲きました。それでも、梅雨を告げるまたたびは葉が白くなっています。草むらを行くと、ミントの香り、そうではっかです。雑草に交じり成長しています。香りの存在感がすごいです。そして毎日見上げる岩手山、青い空を強調して撮影しました。どこの家庭にもある、普通の事を書いてみました。



栗の花が咲きました。



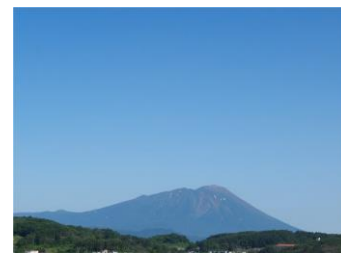
バラの新芽



野生化したイチゴ



白葉のまたたび



ブルースカイをバックに岩手山



咲きだしたガクアジサイ

長岡家は盛岡の郊外にあり、野生の動物も出没します。カモシカが目の前を横切った事もありました。どんだけ田舎だ。

## 編集後記

1年が終わろうとしています。今年はいろんな事がありました。病気と闘った会員も多かった1年でした。井上会長、大関メン、長岡も現在高血圧と座骨神経痛と戦っています。190の血圧はちと怖いので、さすがに病院に行きました。自分もそうですが、母親が年明けから、2回救急搬送して、2回手術をしました。86歳になり、どうして短期間に2回の手術に耐えられるか不思議です。このまま長生きすると、息子の長岡がさきに行くなんてことがあるかもしれません。

放射線を中和できないのか、ネットを調べていました。ロシア

の研究者が偶然発見したとありました。5年も前の事でしたさらに終戦直後、日本の研究者は放射線を止める方法を見つけていたようです。さらに記事にも書きましたが「オオマサガス」にたどり着きました。水から電気分解で取り出すガスようです。エネルギー保存の法則から、これは嘘だという記事も多数ありました。エネルギー保存の法則なんて、そのものが嘘のような気がします。永久磁石にひっついてる空き缶は重力に逆らって磁石にくっついて落ちません。永久磁石は鉄を引き付けるエネルギーをどこから貰っているのでしょうか？科学は偶然の出会いから発展するそうです。認める事から始めましょうよ。